

競技会における感染症予防ガイドライン

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが「5類」に移行することを受けて、宮城県水泳連盟の水泳競技会ガイドラインを一部改定します。法的に感染防止対策が緩和されることとなりますが、新型コロナウイルス感染症が撲滅されたわけではありません。大会を運営する主催者として基本的な感染対策は継続しながら安全に競技会を運営してまいります。引き続き感染防止にご協力をお願いいたします。

【選手・引率者の皆さんに守っていただきたい事項】

【大会当日の朝 選手・引率者の入場時について】

- ①体調不良者は入場（来場）を見合わせる。
- ②指定された入場時間を厳守する。（指定時間より前には入場できない）
- ③集合に際し各チームは選手の検温を行い、ADカードの必要事項記入を確認し入場時に提示する。
- ④入場時検温にて発熱が認められた場合は、大会救護担当者の指示に従う。
- ⑤入場前に体調不良となった場合は、会場内に入場せず帰宅するか、判断に迷う場合は入場口の大会スタッフに申告する。
- ⑥会場内で体調不良となった場合は、近くの大会スタッフに申告し、移動せずにその場で指示を待つ。携帯電話等で連絡可能な場合は、その場で大会実行委員会に連絡し指示に従う。（連絡方法は実施要項等で指定する）

【感染防止のための個人対策について】

- ① こまめな手洗いと手指消毒を推奨する。
- ②マスク着用は個人の判断に委ねる。ただし、人が密集する場所ではマスクの着用を推奨する。
- ③マスクを外した時は、専用のケースまたはポケット等に収納すること。咳やくしゃみが出る場合は、口を「肘で覆う」または「タオルや衣類で覆う」など咳エチケットを徹底すること。
- ④不要になったマスクは、ビニール袋等に収納して持ち帰ること。（会場内では捨てない）
- ⑤練習（ウォームアップ・クールダウン）は、実施要項等で指定された時間および利用方法を厳守すること。
- ⑥選手控え場所は主催者が指定するエリアとする。
- ⑦ごみは必ず持ち帰ること。
- ⑧飲食する場合は以下を厳守すること。
 - 集団で同時の飲食はできるだけ避けること。複数人が同時に飲食する場合は十分な対人距離を確保し、対面しないこと。
 - 食事中は極力会話を控えること。
 - 食物の共有・分け合いは避けること。
 - 要項等で別途指定がある場合は、それに従うこと。

【体調不良時の対応について】

- ① 会場内で体調不良となった場合は、なるべく移動を避けて近くの大会スタッフに声を掛けること。また、直接救護室等には行かないこと。
- ② 引率責任者は常に所属選手の体調に注意し、体調不良者を発見した場合は、速やかに大会総務に連絡し指示に従うこと。

【練習等について】

- ① 追加要項または当日の電光表示で指定されるレーンを使用すること。
- ② スタートダッシュの順番待ち、または水中で順番を待つ際は、会話を控え他者との間隔を保つこと。
- ③ 監督・コーチが声を出して指導する場合は、マスクを着用すること。
- ④ 招集は大会実施要項で指定された集合方法に従うこと。
- ⑤ ウォーミングアップまたは競技出場の際は、衣類・履物を収納するための袋を必ず持参し、自己の荷物はすべて持参した袋に入れて管理すること。
- ⑥ 声を出しての応援は禁止する。
- ⑦ 水泳用具・ストレッチマット等は、個人専用の物を用意し共用しないこと。
- ⑧ 競技会主催者・施設管理者が定めたその他の措置・指示に従うこと。

【荷物の管理について】

- ① ウォーミングアップまたは競技出場の際、衣類やタオルの「むきだし」での放置は感染のリスクが高くなるので、必ず袋等に収納すること。
- ② 使用する袋は、リュックサックやナップサック類、ビニール袋等、どのような種類でもよいが、可能な限りコンパクトなものを使用すること。なお、競技規則に定める商業ロゴマーク等の取り扱い規程に違反しないように注意すること。